

参加
無料

定員
50名



ロジスティクスにおけるテクノロジーを 活用したSDGsへの取り組み

静岡市では、進化し続ける清水港や広域交通ネットワークを活かし、新時代の「物流攻略拠点」となるべく更なるロジスティクス産業の集積を目指しています。

物流・ロジスティクスにおける課題が深刻化し、もはや1企業での対応は限界といわれている中で、連携した課題解決の指針の一つとしてSDGsが注目されています。

今回のセミナーではSDGsを指針としてテクノロジーをどう活用して物流の課題を解決していくか、理解を深めることを目的として開催します。

SDGs(持続可能な開発目標)とは

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。(外務省HPより)

日時

令和元年 **7月18日(木)**
13:00~17:00(12:45~受付)

プログラム

13:10 講演①
14:05 講演②
15:00 講演③
16:00 市のSDGsの取り組み紹介
16:30 市の企業立地促進助成制度紹介

会場

静岡市東部勤労者福祉センター (清水テルサ) 6階 研修室(大)

(<http://terra.net/index.html>)

(静岡市清水区島崎町223)

○JR清水駅みなとロより徒歩5分

○駐車場はございません。



現在の物流課題とSDGs

講演①



公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所
ロジスティクス環境推進センター長 **北條英(ほうじょう まさる)氏**

2002年(社)日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所にて、主にグリーンロジスティクスに係る調査研究に従事する。2015年には国土交通省 共同輸配送促進に向けたマッチングの仕組みに関する検討会委員を、2016年には国土交通省 我が国物流システムの国際標準化等の推進に関する連絡検討会委員を務める。直近の執筆は、「荷主連携による生産性向上並びに省エネ政策の研究「エネルギー・資源」通巻第226号 2017年11月号」。

2050年 CO₂ゼロ物流を目指して

講演②



株式会社豊田自動織機 生技・生産本部 生産管理部 物流企画室 物流管理G 主査
田中 達之輔(たなか たつのすけ)氏

1979年に(株)豊田自動織機入社、港湾向け大型フォークリフトなど産業車両開発設計に従事。その後、製品の環境対応推進や製品リスク低減推進に携わる。2016年より脱炭素型物流へ取り組む。

働く現場のテクノロジー ~将来を見据えたテクノロジーの活用~

講演③



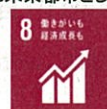
株式会社NTTデータ 製造ITイノベーション事業本部 コンサルティング&マーケティング事業部
ビジネスコンサルティング統括部 コンサルティング担当 課長
横山 真由子(よこやま まゆこ)氏

法人部門における営業・開発を経て現職。現在は製造業界や物流業界を中心にITコンサルティングに従事し、あるべき事業の構想策定から現場へのITシステム導入、ITを活用した業務改革やデータ分析・データ利活用支援まで幅広く担当している。

お申込み/お問合せ

静岡市産業振興課 企業立地係 TEL:054-354-2407
裏面「受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、前日までごFAXでお送りください。

静岡市はSDGs未来都市として、世界水準のまちを目指しています。



『ロジスティクスにおけるテクノロジーを活用したSDGsの取り組み』

【参加申込書】

前日までに静岡市産業振興課あてお送りください。

当日お申し込みの場合はお電話ください。

FAX:054-354-2132

TEL:054-354-2407

企業名			
参加申込者 ※複数申込の場合は、代表者の番号に○を付けてください。		氏名	ご所属・役職名
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
TEL番号			
FAX番号			
メールアドレス			
セミナーで聞きたいこと、知りたいことなどのご要望があれば、ご記入ください。			

【お問合せ】静岡市産業振興課 企業立地係 TEL:054-354-2407

※ご記入いただいた情報は、当セミナーの連絡や主催者事業などの案内に利用することがありますので、ご承知願います。